

# 厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 26 年 5 月現在)

## 1. 総括

### (1) 適用状況

- 平成26年5月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,279万人であり、前年同月に比べて、21万人（0.3%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,815,813	35,914,982	22,911,303	13,003,679	303,621
船員以外	1,811,321	35,861,986	22,858,307	13,003,679	303,504
一般男子	・	22,857,707	22,857,707	・	344,184
女子	・	13,003,679	・	13,003,679	231,997
坑内員	・	600	600	・	339,020
船員	4,492	52,996	52,996	・	382,539
国民年金	・	26,875,842	9,075,243	17,800,599	・
第1号	・	17,213,930	8,878,067	8,335,863	・
任意加入	・	258,983	87,167	171,816	・
第3号	・	9,402,929	110,009	9,292,920	・
合計	・	62,790,824	31,986,546	30,804,278	・
人口	・	127,110,000	61,800,000	65,310,000	・
うち20～59歳	・	62,950,000	31,810,000	31,150,000	・
共済組合（平成 25 年 3 月末）	・	4,398,712	2,791,849	1,606,863	・

注 1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月 1 日現在の推計人口（総務省統計局）である。

### (2) 給付状況

- 平成26年5月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,304万人であり、前年同月に比べて、27万人（0.6%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,277,235	14,370,533	12,360,833	397,375	5,110,177	38,317
旧共済組合を除く	31,740,628	14,044,569	12,272,080	393,323	4,993,291	37,365
旧 法	1,903,751	759,784	620,345	48,157	438,882	36,583
新 法	29,798,574	13,267,368	11,648,640	343,684	4,538,882	・
(再掲) 基礎あり	20,554,221	10,962,314	9,296,870	225,645	69,392	・
基礎または定額あり	21,714,888	11,540,215	10,174,673	・	・	・
基礎繰上げあり	1,729,783	431,898	1,297,885	・	・	・
基礎繰上げなし	19,985,105	11,108,317	8,876,788	・	・	・
基礎及び定額なし	3,201,120	1,727,153	1,473,967	・	・	・
船員保険（旧法）	38,303	17,417	3,095	1,482	15,527	782
旧共済組合計	536,607	325,964	88,753	4,052	116,886	952
旧 法	193,170	147,160	5,991	1,739	37,328	952
新 法	343,437	178,804	82,762	2,313	79,558	・
(再掲) 基礎あり	253,948	175,007	76,966	1,885	90	・
国民年金 計	31,572,834	28,888,456	783,465	1,804,542	96,371	・
旧法拠出制	2,060,437	1,195,867	783,465	65,286	15,819	・
新法基礎年金	29,512,397	27,692,589	・	1,739,256	80,552	・
(再掲) 基礎のみ	8,129,960	6,617,455	・	1,488,829	23,676	・
福祉年金	1,074	1,074	・	・	・	・
合 計	43,042,974	32,122,742	3,770,462	1,974,387	5,137,066	38,317

注 1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に

計上している。新法退職共済年金についても同様。（表 3 において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第 1 号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表 3 において同じ。）

○ 平成26年5月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆1千億円であり、前年同月に比べて、4千億円（0.9%）減少している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,478,070	17,664,159	2,359,264	295,016	5,149,695	9,936
厚生年金基金代行分除く	23,746,110	16,053,476	2,237,987	295,016	5,149,695	9,936
旧共済組合を除く	24,755,549	17,106,414	2,336,939	290,851	5,011,634	9,711
旧 法	2,052,914	1,302,336	234,433	56,200	450,433	9,512
厚生年金基金代行分除く	2,029,198	1,282,711	230,343	56,200	450,433	9,512
新 法	22,624,534	15,754,616	2,101,433	231,589	4,536,896	・
（別掲）基礎年金	13,949,474	7,631,617	6,059,038	190,669	68,151	・
厚生年金基金代行分除く	20,916,289	14,163,558	1,984,246	231,589	4,536,896	・
船員保険（旧法）	78,101	49,461	1,074	3,062	24,306	199
旧共済組合計	722,521	557,745	22,325	4,165	138,061	226
旧 法	390,792	341,309	2,804	2,666	43,787	226
新 法	331,729	216,436	19,521	1,499	94,274	・
（別掲）基礎年金	186,611	129,142	55,829	1,553	88	・
国民年金 計	20,636,668	18,814,337	172,870	1,558,226	91,235	・
旧法拠出制	810,394	573,491	172,870	56,871	7,162	・
新法基礎年金	19,826,275	18,240,846	・	1,501,356	84,073	・
（再掲）基礎のみ	5,398,539	4,084,067	・	1,290,655	23,817	・
福祉年金	425	425	・	・	・	・
合 計	46,115,164	36,478,922	2,532,134	1,853,242	5,240,929	9,936

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

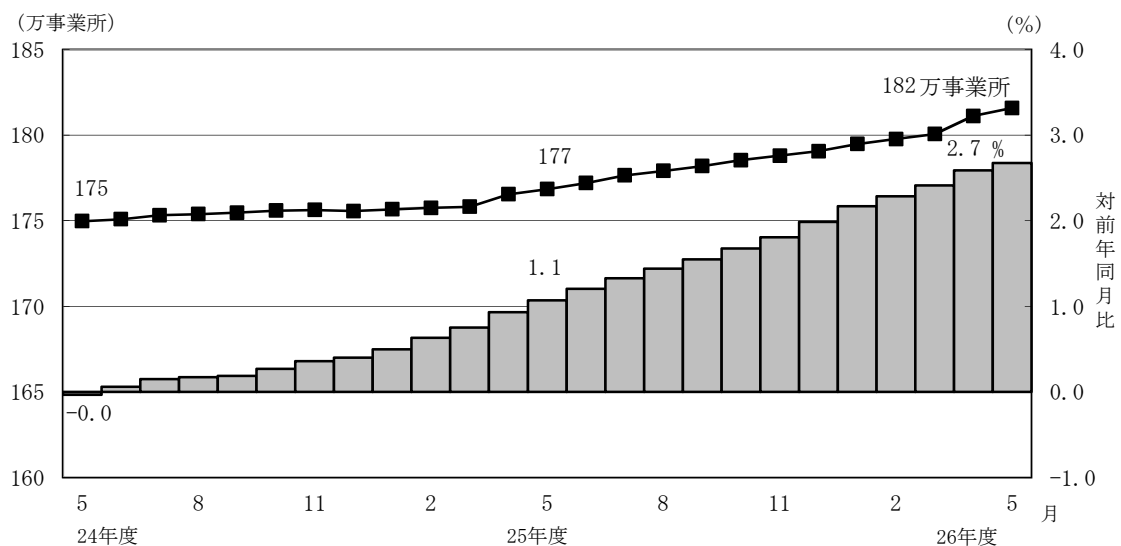
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

## 2. 厚生年金保険

### （1）適用状況

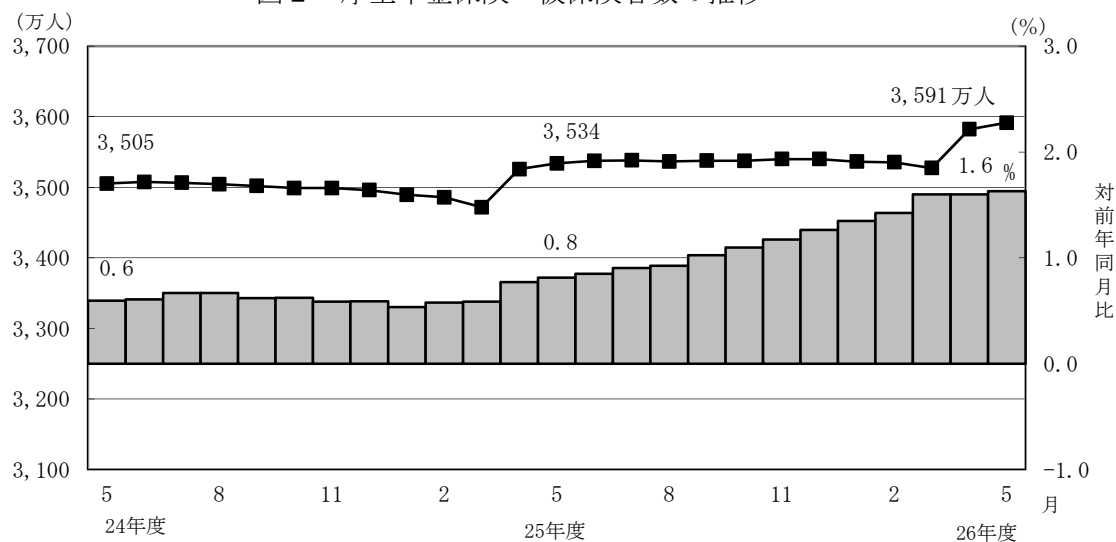
○ 平成26年5月末の厚生年金保険の適用事業所数は182万事業所であり、前年同月に比べて5万事業所（2.7%）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



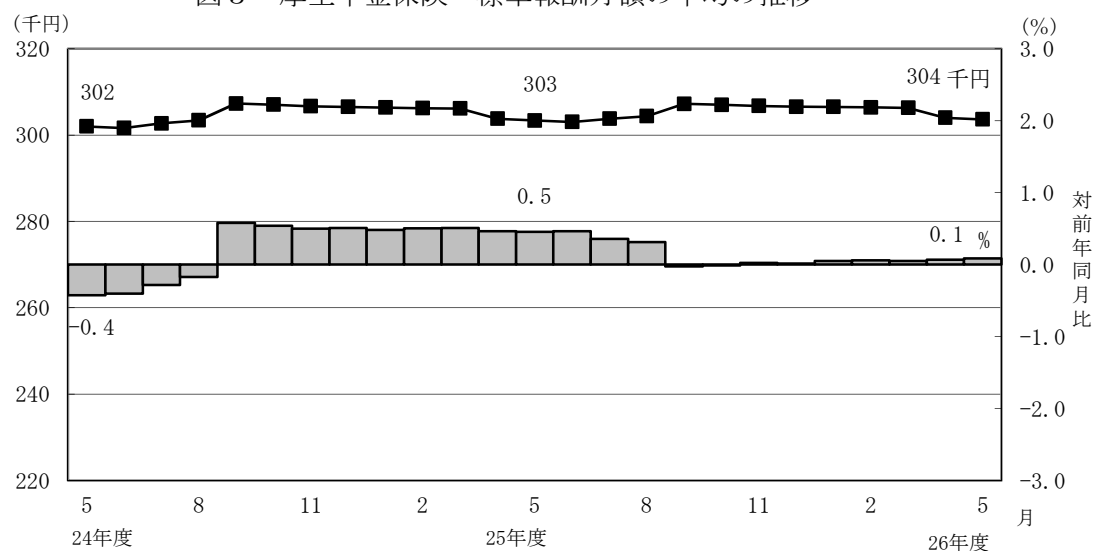
- 厚生年金保険の被保険者数は3,591万人となっており、前年同月に比べて58万人（1.6%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,286万人（対前年同月比30万人、1.3%増）、女子が1,300万人（対前年同月比27万人、2.1%増）、坑内員が6百人（対前年同月比12人、2.0%減）、船員が5万人（対前年同月比2百人、0.4%減）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額額の平均は、30万3,621円となっており、前年同月に比べて0.1%増加している。内訳をみると、一般男子は34万4,184円（対前年同月比0.0%減）、女子は23万1,997円（対前年同月比0.6%増）、坑内員は33万9,020円（対前年同月比0.2%増）、船員が38万2,539円（対前年同月比1.2%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額額の平均の推移

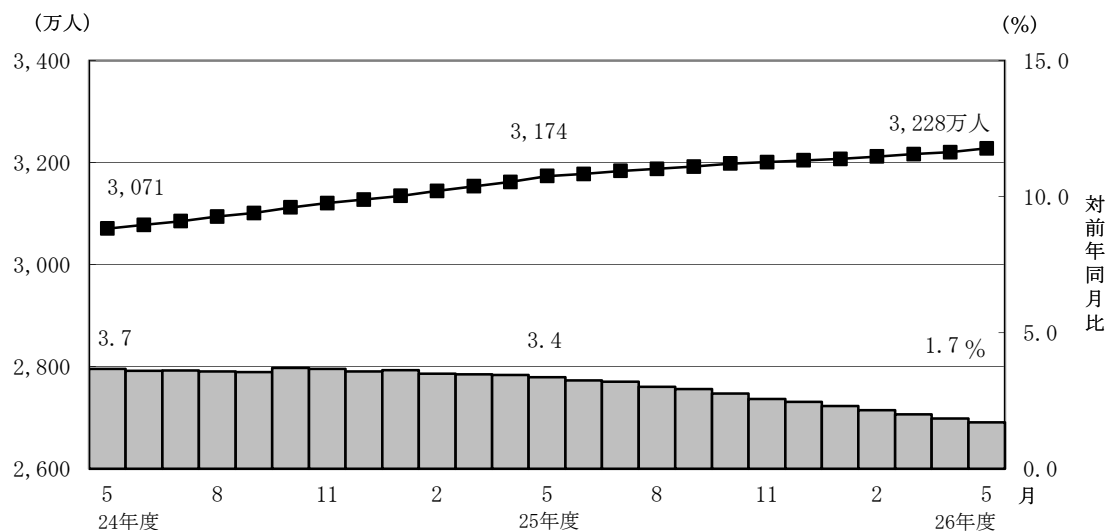


- 賞与支給事業所数は3万事業所、賞与支給被保険者数は97万人、標準賞与額の平均は26万9,414円となっている。

## (2) 給付状況

- 平成26年5月末の厚生年金保険受給者数は3,228万人（旧法厚年分190万人、新法厚年分2,980万人、旧法船保分4万人、旧共済分54万人）で、前年同月に比べて54万人（1.7%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,673万人（旧法厚年分138万人、新法厚年分2,492万人、旧法船保分2万人、旧共済分41万人）で、前年同月に比べて43万人（1.6%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分34万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて6千人（1.6%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は515万人（旧法厚年分48万人、新法厚年分454万人、旧法船保分2万人、旧共済分12万人）で、前年同月に比べて10万人（2.1%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成26年5月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,437円となっている。  
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、7万7,773円である。

- 平成26年5月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は7万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

	失 業 給 付								
	件数 (人)			総停止年金額 (千円)			平均停止月額 (円)		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 25年 12 月	64,177	47,279	16,898	43,814,824	40,227,885	3,586,940	56,893	70,905	17,689
平成 26年 1 月	61,099	44,544	16,555	40,975,976	37,449,718	3,526,258	55,887	70,061	17,750
2 月	59,270	43,038	16,232	39,384,829	35,936,880	3,447,950	55,375	69,584	17,701
3 月	58,449	42,179	16,270	38,385,883	34,929,369	3,456,514	54,728	69,010	17,704
4 月	56,069	39,848	16,221	35,740,183	32,308,398	3,431,784	53,119	67,566	17,630
5 月	66,151	47,087	19,064	42,103,885	38,068,281	4,035,604	53,040	67,372	17,641

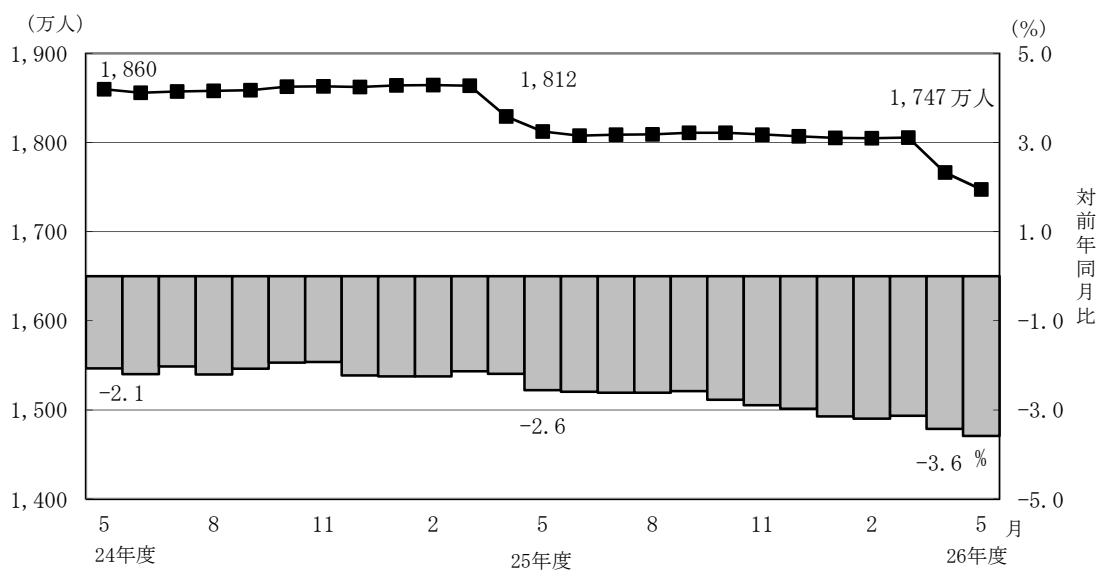
	高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
	件数 (人)			高年齢雇用継続給付による停止総額 (千円)			平均停止月額 (円)		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 25年 12 月	352,352	342,590	9,762	44,843,599	43,938,010	905,589	10,606	10,688	7,731
平成 26年 1 月	348,781	339,122	9,659	44,437,803	43,538,685	899,118	10,617	10,699	7,757
2 月	342,851	333,298	9,553	43,709,361	42,820,144	889,216	10,624	10,706	7,757
3 月	339,570	329,945	9,625	43,145,970	42,257,765	888,204	10,588	10,673	7,690
4 月	329,366	319,932	9,434	41,753,441	40,879,454	873,987	10,564	10,648	7,720
5 月	314,226	305,008	9,218	39,754,074	38,909,438	844,635	10,543	10,631	7,636

### 3. 国民年金

#### (1) 適用状況

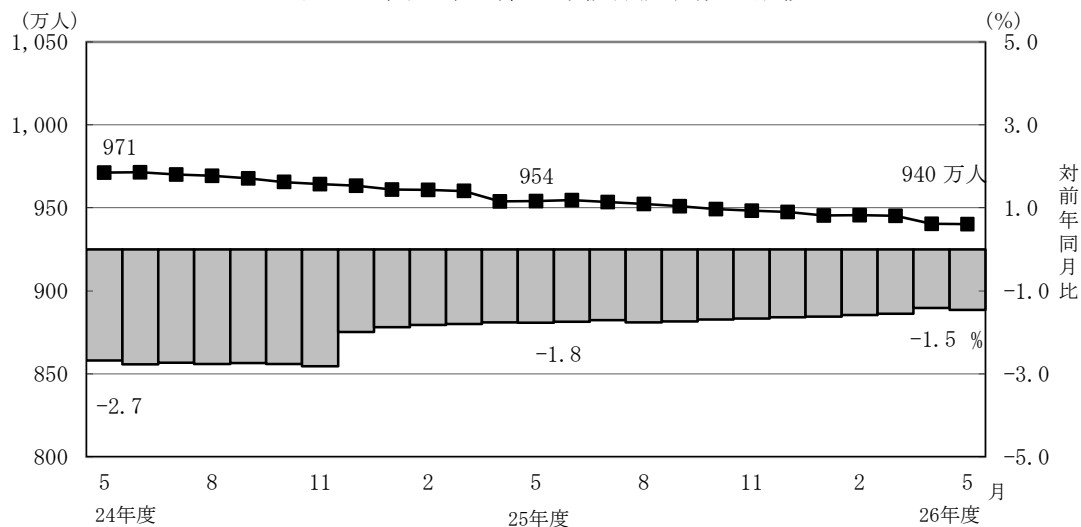
- 平成26年5月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,747万人となっており、前年同月に比べて65万人（3.6％）減少している。内訳をみると、男子は897万人（対前年同月比32万人、3.4％減）、女子は851万人（対前年同月比33万人、3.7％減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は940万人となっており、前年同月に比べて14万人（1.5％）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.9％減）、女子は929万人（対前年同月比14万人、1.5％減）となっている。

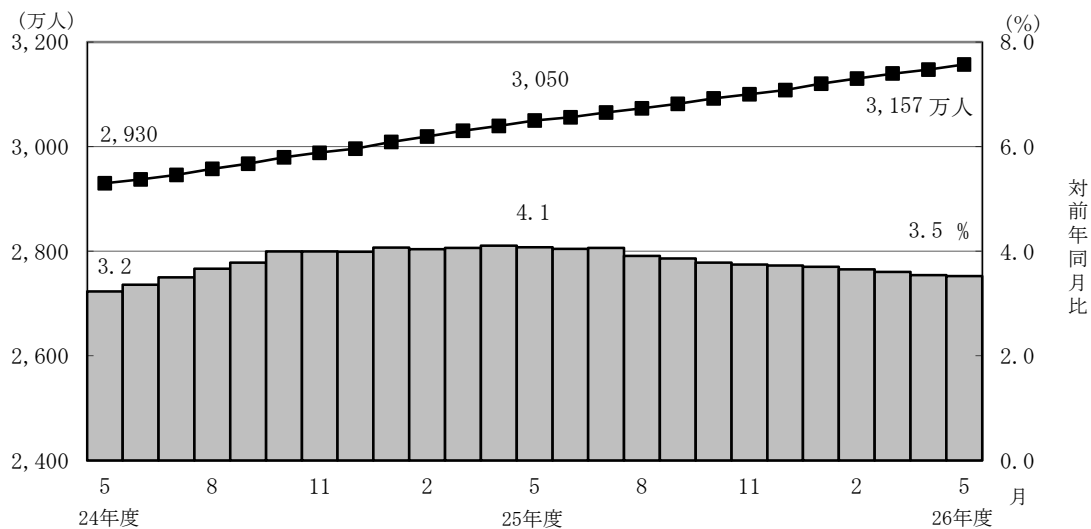
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



## (2) 給付状況

- 平成26年5月末の国民年金受給者数は3,157万人（旧法拠出制206万人、基礎年金2,951万人）で、前年同月に比べて107万人（3.5%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,967万人（旧法拠出制198万人、基礎年金2,769万人）で、前年同月に比べて105万人（3.7%）増加している。
- 障害給付の受給者数は180万人（旧法拠出制7万人、基礎年金174万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制2万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて4千人（4.4%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成26年5月末で5万4,273円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万762円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、5月は新規裁定者2万人のうち繰上げ受給権者が3千人となっており、繰上げ受給率は15.2%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。